

リハビリテーション管理学特論

[講義] 第1・2学年 後期 必修 2単位

《担当者名》○鈴木英樹 hideki-suzuki@hoku-iryo-u.ac.jp 本家寿洋 清水兼悦

【概要】

保健・医療・福祉をはじめとする様々な領域における理学療法や作業療法は、疾病の構造変化や技術革新に伴う医療の専門分化を背景に国民の医療・保健サービスへの多様なニーズに応える必要がある。そのためにはスペシャリストであると同時にジェネラリストであり、また他職種との連携を有機的に進められるコーディネーターでなくてはならない。これらの現状に対する現状の課題を多面的に分析し具体的実践が行えるよう理解する。

【学修目標】

1. 組織管理及び運営の目的について説明が出来る。
2. 多職種連携における様々なモデル及び現状の課題について説明が出来る。
3. 地域包括ケアシステムを見据えた専門職の取り組みについて説明が出来る。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～5	多職種連携と組織	多職種連携の必要性とモデル 多職種連携における現状と課題 多職種連携を推進するための医療専門職の資質	本家寿洋
6～9	地域包括ケアを見据えた専門職・職能団体における取り組み	診療報酬及び介護報酬の仕組み リハビリテーション部門の業務・人材・教育研究管理 職能団体における取り組み	清水兼悦
10・11	地域包括ケアを見据えた専門職・職能団体における取り組み	北海道理学療法士会における取り組み	鈴木英樹 太田 誠（特別講師）
12・13	地域包括ケアを見据えた専門職・職能団体における取り組み	言語聴覚士による地域での取り組み	鈴木英樹 金浜悦子（特別講師）
14・15	組織管理	組織管理についての現状と課題	鈴木英樹

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

討議での討議内容50%、レポート50%で評価する

【教科書】

特に指定しない

【参考書】

篠田道子著 多職種連携を高める～チームマネジメントの知識とスキル 医学書院 2011年
P.Fドラッカー著（上田惇生訳） マネジメント～基本と原則 ダイアモンド社 2001年

【学修の準備】

学習する内容について事前に教員に確認するなどし、当日の議論が活発になるよう準備すること。

- 1) 配布資料の通読（80分）
- 2) 関連する図書、文献の準備（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎を修得するというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。